

田～留萌間に幕



▲最終日に運行された4両編成の列車

多くの住民に愛された留萌本線の石狩沼田～留萌間（32.7キロ）が、令和5年3月31日で運行を終了し、明治43年11月23日の開通以来、113年の歴史に別れを告げました。

ラストランのこの日は、始発列車から多くの鉄道ファンが沿線を訪れ、写真撮影や実際に留萌本線に乗り、列車からの車窓をまぶたに焼き付けていました。

また、石狩沼田駅・恵比島駅では、駅弁や駅そば、留萌本線グッズの販売、各駅の到着証明証が配布され、町民や多くの鉄道ファンが各駅でそれぞれ別れを惜しんでいました。

この日は、キハ54とキハ150型で特別に編成された4両の「ありがとう留萌本線」と書かれたヘッドマークを付けた列車が運行されました。

最終列車の時刻が近づくと、

留萌本線 石狩沼田



列車に設置されたヘッドマーク

それぞれの駅には多くの町民や鉄道ファンが集まり、石狩沼田駅では、吹ガールズが演奏する中、観光協会から配られたペンライトを振って大きな声援で、列車を見送りました。

恵比島駅で行われた、最終20時54分発深川行列車の見送りでは、周辺住民が「ありがとう」と描かれた手作りの横断幕をかかげ、通学などに利用した留萌本線に感謝の気持ちを伝えました。



到着証明証交付場所に長蛇の列



夜高太鼓による大迫力の演奏

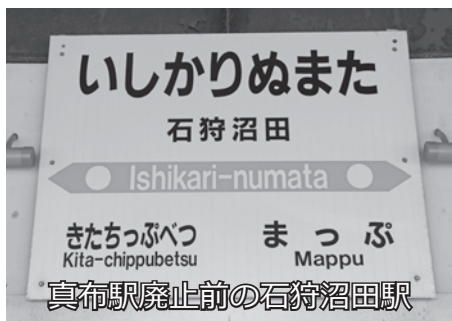


到着証明証を受け取る女性



石狩沼田駅で列車を撮影する町民や鉄道ファン

LAST RUN ～「留萌本線」いつかまた会おう～



真布駅廃止前の石狩沼田駅



緑町の踏切



列車を見ようとたくさんの方が集まった石狩沼田駅



石狩沼田駅到着証明書（左）、
北海道三二時刻表（中）、
真布駅到着証明書（右）



石狩沼田駅が終着
になった運賃表



真布駅で撮影する鉄道ファン



留萌へのラスト・ラン
最終章



留萌へのラスト・ラン
Part1

ラスト・ランの映像を YouTube にて公開しています。

留萌本線廃止までの日々と廃線当日の映像を町公式 YouTube アカウントで公開しておりますので、是非ご覧ください。



石狩沼田駅



真布駅



恵比島駅

恵比島駅では、列車の発着時間に合わせ、JR北海道主催の「ありがとう留萌本線（石狩沼田～留萌）お別れセレモニー」が執り行われました。横山町長とJR北海道の島田修会長がそれぞれスピーチ（左ページ一部掲載）をし、長きに亘り住民や石炭などを運んだ留萌本線への思いを語りました。

その後、吹奏楽サークル「吹ガールズ」が「銀河鉄道999」を演奏し、ホーム上で谷水里咲さんと高橋瑞希さん（共に幌比里）が深川駅長に花束を渡し、出発進行の合図で列車は留萌方面に走り去っていきました。

ありがとう留萌本線（石狩沼田～留萌）お別れセレモニー



恵比島駅に集まった鉄道ファン



想いを胸に挨拶をする
横山町長



恵比島駅で出発の合図をする
深川駅長



明日萌駅で行われた物販



駅長に花束を渡した高橋瑞希さん（左）と谷水里咲さん（右）



ラストランに花を添えた
「吹ガールズ」



セレモニーで挨拶する
JR北海道島田会長

3/31（金）石狩沼田－留萌間運行最終日に行われたイベント

★石狩沼田駅

- 午前 11 時～午後 5 時
石狩沼田駅到着記念証をプレゼント（数量限定）
特設屋台で駅弁、駅そば、ピザ、留萌本線グッズなど販売
- 午後 1 時～午後 1 時 20 分
夜高太鼓演奏
- 午後 8 時 28 分～
留萌行最終列車をペンライトを振ってお見送り

★恵比島駅

- 午前 9 時～午後 5 時
恵比島駅到着記念証明証をプレゼント
- 午前 9 時～午後 9 時
留萌本線グッズ販売、駅前屋台（協力：合同会社ぽっぽや）
- 午後 2 時 10 分～午後 2 時 30 分（列車の到着遅れのため45分遅れで開催）
JR北海道主催「ありがとう留萌本線お別れセレモニー」開催
- 午後 8 時 54 分～
深川行き最終列車をペンライトを振ってお見送り

★真布駅

- 午後 8 時 32 分～
留萌行最終列車をペンライトを振ってお見送り

ありがとう留萌本線お別れセレモニーでの町長スピーチ〔一部抜粋〕

JR留萌本線お別れセレモニーに、地元を代表して一言、お別れの言葉と地域の皆さまにお詫びのご挨拶をさせていただきます。

恵比島の地に鉄道が敷設されたのは、113年前の1910年。この恵比島駅より（幌新まで）留萌鉄道が運行され、多くの乗降客がこの駅に降り立ち、賑やかさと活気ある地域だったことを今、思い返しています。

炭鉱閉山や留萌鉄道の廃線、駅の無人化で、徐々に賑わいを喪失していったさなか、NHKの『すずらん』のロケがこの地で行われ、翌年の1999年4月の放映開始と同時に、全国各地から多くの観光客が来訪され、その年から『SLすずらん号』が運行となったのも、JR北海道の島田修会長が、直接携わった事業だったことを推察します。

ドラマブームも過ぎ、高校の閉校、人口減少の影響から利用者数の減少により、本日をもって石狩沼田駅から留萌間が、時代の流れとはいえ、廃線となることは、悔しく言いようのない寂しさが募り、この地で育ててもらった一人として存続ができなかったことに、沿線住民の皆さまに対して、心からお詫びを申し上げる次第です。

この沼田町に、鉄道が通ったのも、沼田町の開拓者である沼田喜三郎翁が自身の土地や財産を提供していただいたことにより、現在の形がつくられたと聞いています。その財産である留萌本線を持続するため、さらには今後の鉄道を守るため、道内自治体では唯一JR北海道を支援する立場を明確にし、できる限りの活動を展開してきたところです。

北海道農業を、道民の生活を、観光大国北海道を守るために、これ以上道民の宝である鉄路がなくなることはないよう、国、北海道、そしてJR北海道に切にお願いを申し上げたいので、ここまで雨の日も、吹雪の日も留萌本線を支えてくれた皆さんに心から感謝と、多くの人の夢や希望を運んでくれた留萌本線にお礼を申し上げ、挨拶といたします。

これからも我々の心の中でいつまでも走り続けてくれるでしょう。ありがとう留萌本線、そしていつかまた会おう、恵比島駅。

令和5年3月31日 沼田町長 横山 茂

留萌本線の歴史（主だったもの）

- 1907年 2月 第1工区（深川・恵比島間）着工
- 10月 第2工区（恵比島・藤山間）着工
- 1910年11月 **留萌線開業**
（筑紫駅・沼田駅・恵比島駅・峠下駅・幌糠駅・藤山駅・大和田駅・留萌駅）
- 1924年 4月 沼田駅が石狩沼田駅に改称
- 1930年 7月 留萌鉄道開業（恵比島～太刀別間）
- 1931年 7月 深川・留萌・増毛間が留萌本線、留萌・古丹別間が羽幌線に改称
- 1956年 7月 北秩父別仮乗降場・真布仮乗降場新設
- 1969年 4月 **留萌鉄道廃止**
- 1987年 4月 **北海道旅客鉄道株式会社発足**
4月 北秩父別仮乗降場が北秩父別駅、真布仮乗降場が真布駅に格上げ
- 1997年 4月 留萌本線を留萌本線、留萌駅を留萌駅に改称 「萌」→「萌」
- 1999年 4月 NHK連続ドラマ小説「すずらん」放送開始（ロケ地：恵比島駅ほか）
5月 「SLすずらん号」運行開始
- 2000年 6月 映画「少女萌の物語」公開（ロケ地：恵比島駅）
- 2001年 4月 「増毛GWノロッコ号」運行開始
- 2010年11月 留萌本線開業100周年
- 2016年12月 留萌～増毛間廃止
- 2020年 3月 深川・留萌自動車道全開通
- 2022年 8月 **JR北海道と沿線自治体における留萌本線廃止合意**
11月 JTB 小さな時刻表 2022 冬号の表紙に真布駅が掲載
- 2023年 3月 **石狩沼田－留萌間廃止**